令和6年度　事業報告　　施設名 幼保連携型認定こども園　同朋わくわく園

事業年度	定員(人)			児童数(延人数)			充足率(%)		延長保育利用人数（延人数）								一時保育	園庭開放他
									30分延長	1/1.5時間延長		2時間延長		日割り			(延人数)	(延人数)
令和5年度　事業報告	90 人	1号		911 人	1号		1号		56 人	10	人		人	203	人		154 人	246 人
		2,3号	90 人		2,3号	911 人	2,3号	84 %										
令和6年度　事業報告	96 人	1号	6 人	1112 人	1号	91 人	1号	126 %	133 人	1	人		人	561	人		4 人	295 人
		2,3号	90 人		2,3号	1021 人	2,3号	94,5 %										
ヒヤリハット　A(危険度重)B(危険度中)C(危険度軽)				事故報告　(受診を要した件数)					要望・意見・苦情　報告									
A：10 件　B：38 件　C：37件				11 件					要望：　1件　意見：　1件　苦情：　6件									

方針 基本法	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重	≪教育・保育理念≫ ・人は大切　子は宝 　人間尊重と子ども第一主義 ≪教育・方針≫ ・豊かな人間性を育む ≪教育方針≫ ・心も身体も健康な子どもに	・自然との関わり、生命尊、季節の野菜、花の栽培、SDGs ・一人ひとりを大切にした保育 ・主体性を尊重し、個々の気持ちを受け止める ・虐待防止と早期発見 ・権利擁護の実践と研修	・季節の野菜・花の栽培 ・権利擁護の園内研修（年1回） ・虐待防止のチックリスト（年3回）	・中庭の畑の利用だけでなく、プランター等を利用し、野菜や花の栽培を行うことで、作物の生長　をより身近に感じることができた。 ・権利擁護の園内研修やチェックリストを活用し、日々の関わりについて振り返りを行った。	・育てた野菜では、スイカ割りを楽しんだり、昨年度採取した種を育ててみたり、継続した取り組みを行っており、今後も続けていきたい。 ・今後も定期的に日々の保育の振り返りを行う機会を持ち、虐待防止に取り組んでいく。
サービスの質の向上	・保育の質の向上 ・職員の質の向上 ・保護者との連携	・各種マニュアル・ヒヤリマップ作成と定期的な見直し ・園内研修の充実 ・行事や懇談会を通して子どもの育ちを保護者と共有 ・保育の見える化 ・保護者アンケート	・各種マニュアルの作成・見直し ・ヒヤリマップの作成・見直し ・キャリアップ研修（対象者） ・保育参加（年2回） ・クラス懇談会（年2回） ・保護者アンケート ・保育のみえる化（インスタの配信など）	・保育参加やおまつりごっこなどのイベントを通して、日々の保育を見ていただく機会を多くした。 ・インスタグラムでは、行事などの活動内容だけでなく、普段の保育、子どもの様子もアップし、保護者だけでなく、地域の方にも関心を持っていただいた。	・今後も、保護者の参加イベントや保育参加を継続し、さらに理解を深めていく。 ・インスタグラムの投稿回数を増やし、園内外へ園の様子を発信する。（けん玉の活動をみて地域の方から園内の活動を知り、いいなと思った、とのご意見をいただいた）
地域との共生	・地域に開かれた施設づくり ・多様な主体の連携・協力 ・地域との共同	・子育て事業の強化：育児相談、園庭開放、子育て広場、育児講座 ・体験型保育わくわくルーム ・地域の方を招いての交流会 ・地域公園清掃、芝生広場芝刈り	・子育て広場（年96回） ・園庭開放（週1回） ・わくわくルーム（年１０回） ・交通安全教室（2月） ・東灘警察指導の下、不審者訓練（11月） ・地域（新堀公園）清掃（週1回） 芝生広場の清掃（年1回） ・地域の方を招いての交流会（年2回）	・園庭開放や子育て広場を積極的に行った。また、田中児童館の活動に地域交流室を開放し、園利用者だけでなく広く知ってもらう機会となった。 ・10月のハロウィンでは、高齢者施設への訪問を行った。また、クリスマス会やお茶会を継続して開催し、喜んでいただいている。	・わくわくルームの利用から入園希望に繋がっている。今後も園庭開放やわくわくルームを積極的に行い、入園に繋げて行きたい。 ・地域の清掃や活動に参加することで、地域の方との繋がりも増えている。今後も積極的に参加したい。また、園の行事にも参加していただき、交流を深めたい。
人材育成	・人材育成 ・人材確保 （新任採用・離職防止）	・業務確認・成長シートの活用 ・3人バディー制（リーダー・中堅・新任） ・世代別ミーティング ・働きやすい職場づくり （業務省力・有給65%取得）	・行動計画や就業規則の周知 ・休憩時間、事務時間の確保 ・有給休暇84%以上取得	・世代別ミーティングや業務確認を行い、働きやすい環境づくりに取り組んだ。 ・職員の療養休暇、途中退職があり、職員が必要と感じていることなどを聞き取り、第三者(社労士)に話を聞いてもらうことに取り組んだ。	・職員の意見なども参考に、園内での相談の機会を増やし、相談しやすい環境づくりに取り組む。 ・今後も、働きやすい職場つくりに取り組む。（世代別ミーティング等）

幼保連携型認定こども園
同 朋 わ く わ く 園